



浪花おふくろファンド

追加型投信／内外／株式／ファンド・オブ・ファンズ

運用報告書（全体版）

第15期（決算日2023年3月3日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式／ファンド・オブ・ファンズ
信託期間	無期限
運用方針	一般家庭の“時間をかけた財産作り”をお手伝いさせていただくために、信託財産の長期的な成長を図ることを目的としています。
主要運用対象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券（投資信託の受益証券（投資法人の投資証券を含みます。）以下同じ。）を投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の50%未満とします。但し、信託約款又は規約等においてファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることが定められている投資信託証券については制限を設けません。 ③外貨建資産への投資には制限を設けません。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。（分配を行わないことがあります。）当ファンドは分配金再投資専用です。

受益者の皆さまへ

平素は「浪花おふくろファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、このたび第15期決算を行いましたので、当期の運用状況をまとめております。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を行って参りましたこと、合わせてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期投資の充実のため、努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

clover
asset management

■お問合せ先

クローバー・アセットマネジメント株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目3-4 京橋日英ビル3階

[ホームページ] <https://www.clover-am.co.jp>

[電話] 03-6262-3923 / [通話料無料ダイヤル] 0800-5000-968

[営業時間] 9:00~17:00（土日祝日・年末年始を除く）

運用担当者の紹介

浪花おふくろファンドは、さまざまなジャンルの実業経験者と金融専門家が、それぞれの経験を活かしファンド運営を行っています。週一回の運用会議と月一回の投資政策委員会は、東京⇄ジュネーブのネット会議となります。グローバルなネットワークに基づいた独特の視点は、数ある国内ファンドの中でもユニークなものであると自負しております。

■代表取締役社長 運用統括責任者 多根 幹雄



スイス、ジュネーブに1999年から9年間駐在し、グループ企業の資金運用を担当してきました。その間、多くのプライベートバンクやファミリーオフィスからの情報により、世界18カ国100を超えるファンドマネージャーを訪問。実際投資を行う中で、良いファンドを見極める選択眼を磨くことが出来ました。また当時築いたスイスでのネットワークが現在の運用に大いに役立っています。

また、大手のメガネ専門店チェーンの役員として実際の企業の盛衰も経験し、どんな時に組織が良くなり、また悪くなるかを身をもって体験しました。そこから、どんな企業やファンドにも旬や寿命があるというのが持論です。その為、常に新しいファンドを発掘し、旬のファンドに入れ替えを行うことで、長期で高いパフォーマンスを目指しています。

■専務取締役 運用部長 磯野 昌彦



さわかみ投信顧問株式会社（現さわかみ投信株式会社）のスタートアップメンバーとしての2年間の経験他、グループ企業のIR担当（インベスター・リレーションズ、投資家とのコミュニケーションをする仕事です）を10年間にわたって担当。評価される企業側として、ファンドマネージャーやアナリストから厳しい質問を受ける立場でしたが、当時、「この人は手ごわい」「この人は勉強不足」などと、各人を個別評価することで、どんなファンドマネージャーやアナリストが優秀かを見極める力がつきました。今は逆の立場で厳しい目でファンドを評価しています。

■チーフ・ストラテジスト 樋口 恭信



1959年にジュネーブに渡り、現在もスイス在住。1982年から野村證券の債券トレーダーとして東京、ロンドンで勤務した後、アジアファンドや債券ファンドの運用に従事。1996年からスイスのピゲ銀行にて国際分散投資ファンド、ヘッジファンドのファンド・オブ・ファンドや、日本株式ファンド、インカム・ファンドなど幅広い商品の運用に従事し、その経験を銀行の資産運用部門でも活かしてきた金融のスペシャリスト。世界の流れが変化し、規制が強化される中で運用の仕方も変わってきている。変化が生まれるということは新たな機会が生まれるということ。それも楽しみです。

■運用部 アナリスト
韓 栄淑



2005年よりみずほ証券香港にて、香港と台湾の機関投資家向けの日本株営業に従事。2007年に東京に戻り、三菱UFJモルガン・スタンレー証券にてエコノミストとして日本経済の分析に携わる。資産管理会社、マッキンゼーを経て、2018年よりクローバー・アセットマネジメントにて運用部アナリストとして勤務。刻一刻と変化する世界経済の動きを、金融市場を通してより身近に感じられることがこの仕事の最大の魅力だと思います。これまでの経験をファンド運用に活かしていけたらうれしいです。

※2022年4月1日付にて運用体制を変更いたしました。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託受益 証券組入比率	投資証券 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
11期 2019年3月4日	20,020	0	△4.0	35.7	42.6	1,228
12期 2020年3月3日	20,343	0	1.6	69.0	6.2	1,246
13期 2021年3月3日	25,318	0	24.5	77.8	10.3	1,452
14期 2022年3月3日	23,673	0	△6.5	73.3	15.2	1,422
15期 2023年3月3日	24,230	0	2.4	70.4	12.6	1,531

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		投資信託受益 証券組入比率	投資証券組入比率
	円	騰落率		
(期首) 2022年 3月3日	23,673	—	73.3	15.2
3月末	25,483	7.6	74.1	15.1
4月末	23,881	0.9	73.2	14.6
5月末	23,616	△0.2	73.9	13.4
6月末	23,448	△1.0	73.9	12.8
7月末	24,359	2.9	73.7	13.4
8月末	24,253	2.5	72.1	13.5
9月末	23,354	△1.3	71.3	13.6
10月末	23,816	0.6	70.4	13.9
11月末	24,631	4.0	69.7	14.4
12月末	23,360	△1.3	69.9	13.2
1月末	24,482	3.4	70.3	13.4
2月末	24,086	1.7	70.4	12.4
(期末) 2023年 3月3日	24,230	2.4	70.4	12.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

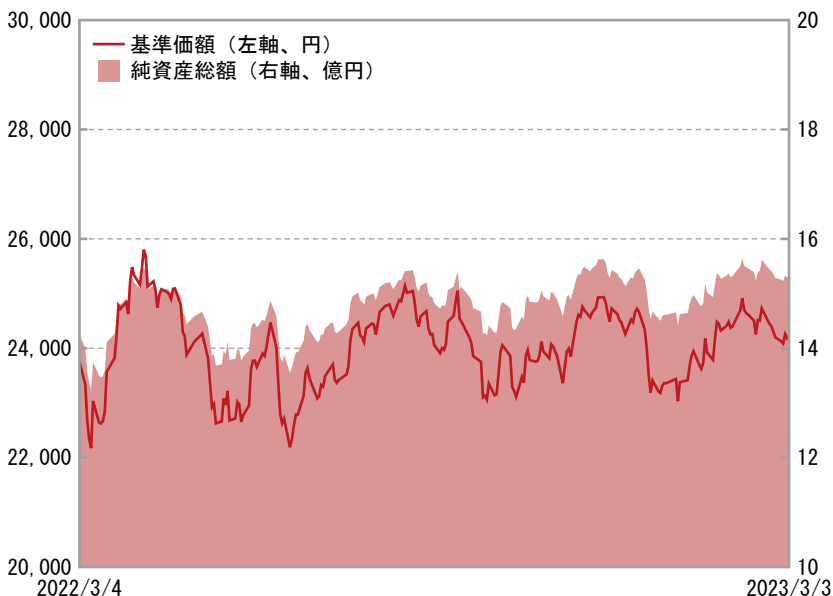
(注2) 当ファンドは、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

期中の基準価額等の推移（2022年3月4日～2023年3月3日）

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.4%の上昇となりました。



【基準価額のハイライト】

	基準価額	日付
安値	22,173円	2022年3月10日
高値	25,803円	2022年4月6日

(注1) 当ファンドは、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

(注2) 分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示していません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。従って、当ファンドとベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示していません。

投資環境

今期は期初直前（2月24日）から、ロシアのウクライナ侵攻が始まり、3月中旬には米国の金融緩和の出口戦略の利上げが始まりました。アジア圏でもほとんどの国で収まり始めていた新型コロナ感染ですが、中国では、各地で猛威を振るい、政府の「ゼロコロナ政策」もあり、都市ごとにロックダウン措置が取られ、半導体などの基礎的産業基盤製品の供給にも大きな影響が出たことや、ロシアのウクライナ侵攻が農産物や石油、天然ガスの輸出に大きな影響を与え、インフレの高騰に拍車をかける事態となりました。

米国や欧州諸国は、インフレ懸念で不安定な相場が続きますが、5月初めには米国FRBが+0.50%の利上げを決め、6月から史上最大の+0.75%の利上げを開始しました。11月までその状況が続き米国株式市場は乱高下となりますが9月末には、相場は底打ちとなります。10月中旬から、利上げの効果が経済指標に徐々に現われはじめ、利上げの終わりの時期、到達点が議論されるようになりました。12月には+0.50%の利上げとなり、2月には+0.25%となり、株式相場は、2月中旬まではNYダウは34,000ドル前後で安定的に推移しました。

一方、日本株式市場は、欧米に比べて新型コロナ対策の緩和が遅れていましたが、5月中旬から海外からの円滑な入国のため水際対策を緩和、また、中国上海のロックダウンが6月から緩和されるということで、やっと経済再開に向けて動き出すムードとなり、遅れ気味だった株価の上昇が始まりました。8月中旬には日経平均は29,000円付近まで上昇します。各先進国を中心にインフレ抑制の利上げが進む中、10月初めまで大幅な円安に見舞われ、輸入物価指数が上昇、またゼロコロナ政策の中国の不況もあり年末まで乱高下となりました。その後、利上げの減速を受けて円安は解消され、年明けには、ゼロコロナ政策を解除した中国経済も驚異的な回復を見せ、日経平均は28,000円近くまで値を戻しました。

当ファンドの運用経過と基準価額の主な変動要因

当期の浪花おふくろファンドのパフォーマンスは+2.4%となりました。

3月から、実際に米国の利上げが始まるということで、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90（一部）、コムジェスト世界株式ファンド（一部）を売却し、現金比率を高めました。当初、我々が予想していた株式市場の大きな下落はなく、十分準備した現金が活かされるタイミングは期中には残念ながらありませんでした。

今後の運用方針

世界的な金融引き締めの影響を受けて、不安定な状況が想定されるので購入を想定しているファンドの具体的な状況を個別に確認しながらタイミングを見て新規組み入れも含め少しずつ組み入れていきたいと考えています。

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については0円とさせていただきました。なお、収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、元本部分と同様に運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当期
	(2022年3月4日～2023年3月3日)
当期分配金（税込み）	0円
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	16,513円

(注1) 当期の収益は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、当期の収益以外は収益調整金および分配準備積立金です。

(注2) 円未満は切捨てして表示しております。

お知らせ

該当事項はありません。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2022年3月4日～2023年3月3日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 238	% 0.991	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（投信会社）	(153)	(0.637)	
（販売会社）	(77)	(0.321)	
（受託会社）	(8)	(0.033)	
(b) 保管費用等	8	0.033	(b) 保管費用等＝期中の保管費用等÷期中の平均受益権口数
合計	246	1.025	

期中の平均基準価額は24,007円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しております。

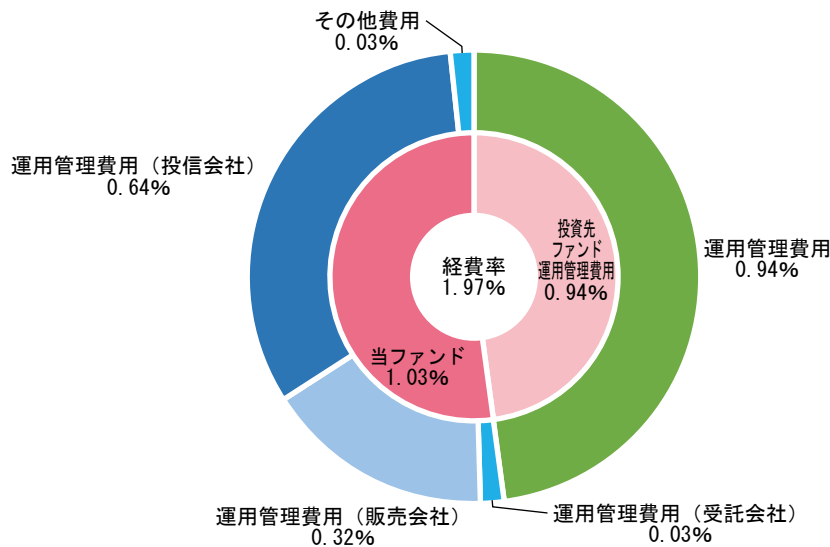
(注3) 金額は項目毎に円未満は四捨五入して表示しております。

(注4) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目毎に小数点以下第4位を四捨五入して表示しております。

【参考情報】

経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は、1.97%です。



経費率 (①+②)	1.97%
①当ファンドの費用の比率	1.03%
②投資先ファンドの経費率	0.94%

- ・①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- ・②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算です。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。小数点以下第3位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券・投資証券です。
- ・①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
- ・投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

期中の売買及び取引の状況

投資信託受益証券

(2022年3月4日から2023年3月3日まで)

	買付		売付	
	単位数又は口数	金額	単位数又は口数	金額
国内	千口	千円	千口	千円
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90	—	—	9,506.869	15,500
			(—)	(—)
コムジェスト世界株式ファンド	—	—	11,889.663	14,999
			(—)	(—)

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨てて表示しております。

利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

当期中における委託会社の自己取引はありません。

自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

組入資産の明細

国内投資信託受益証券

2023年3月3日現在

銘柄	当期末		
	単位数	評価額	比率
	千口	千円	%
SBI 中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ	7.52	284,150	18.5
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90	78,061.733	139,988	9.1
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95	47,201.587	48,258	3.2
コムジェスト世界株式ファンド	465,509.328	605,860	39.6
合計	590,780.168	1,078,258	70.4
	金額		
	銘柄数<比率>	4銘柄<70.4%>	

(注1) 合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 比率は項目毎に小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

外国投資証券

2023年3月3日現在

銘柄	単位数	当期末		比率
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アイルランド)	千口	千日本・円	千円	%
クーブランド・カーディフ・ファンズ-CC ジャパン アルファファンド クラスC	125.804854	192,917	192,917	12.6
日本・円通貨計	金額	125.804854	192,917	12.6
	銘柄数<比率>	1銘柄<12.6%>		
合計	金額	125.804854	192,917	12.6
	銘柄数<比率>	1銘柄<12.6%>		

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

なお、3月3日における邦貨換算レートは、1日本・円=1.00円、1アメリカ・ドル=136.70円、1ユーロ=144.98円です。

(注2) <>は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注4) 比率は項目毎に小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

投資信託財産の構成

2023年3月3日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 1,078,258	% 70.2
投資証券	192,917	12.6
コール・ローン等、その他	264,247	17.2
投資信託財産総額	1,535,422	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てして表示しております。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、3月3日における邦貨換算レートは、1日本・円=1.00円、1アメリカ・ドル=136.70円、1ユーロ=144.98円です。

(注3) 当期末における外貨建資産(213,225千円)の投資信託財産総額(1,535,422千円)に対する比率は、13.9%です。

(注4) 各比率は項目毎に小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年3月3日現在

項目	当期末
(A) 資産	1,535,422,801円
コール・ローン等	264,247,344
投資信託受益証券(評価額)	1,078,258,117
投資証券(評価額)	192,917,340
(B) 負債	3,608,035
未払信託報酬	3,608,035
(C) 純資産総額(A-B)	1,531,814,766
元本	632,205,941
次期繰越損益金	899,608,825
(D) 受益権総口数	632,205,941口
1万口当り基準価額(C/D)	24,230円

(注) 期首元本額 600,934,063円
期中追加設定元本額 49,568,570円
期中一部解約元本額 18,296,692円

損益の状況

当期 自2022年3月4日 至2023年3月3日

項目	当期
(A) 配当等収益	△22,240円
受取利息	155,701
支払利息	△177,941
(B) 有価証券売買損益	49,306,124
売買益	73,597,266
売買損	△24,291,142
(C) 信託報酬等	△15,121,257
(D) 当期損益金(A+B+C)	34,162,627
(E) 前期繰越損益金	542,468,718
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	322,977,480 (401,625,563)
(売買損益相当額)	(△78,648,083)
(G) 合計(D+E+F)	899,608,825
次期繰越損益金(G)	899,608,825
追加信託差損益金 (配当等相当額)	322,977,480 (401,625,563)
(売買損益相当額)	(△78,648,083)
分配準備積立金	642,348,089
繰越損益金	△65,716,744

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には、信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(401,625,563円)及び分配準備積立金(642,348,089円)より分配対象額は1,043,973,652円(1口当たり1.651319円)であります。分配は行っていません。

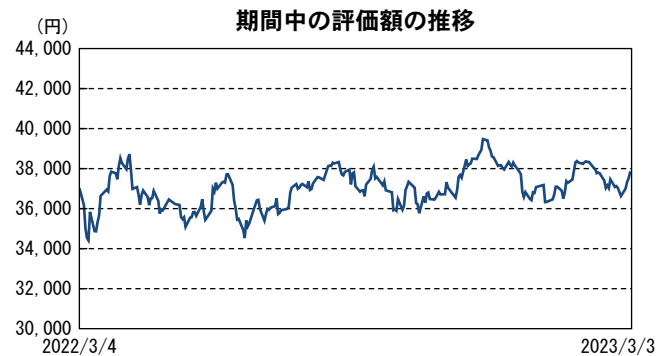
組入ファンドの評価額と為替レートの動き

当期計算期間中（2022年3月4日～2023年3月3日）の組入ファンドの評価額の推移は以下の通りです。

1. SBI 中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ（適格機関投資家専用）（円建て）

SBI 中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブの当期の騰落率※は、+1.5%でした。

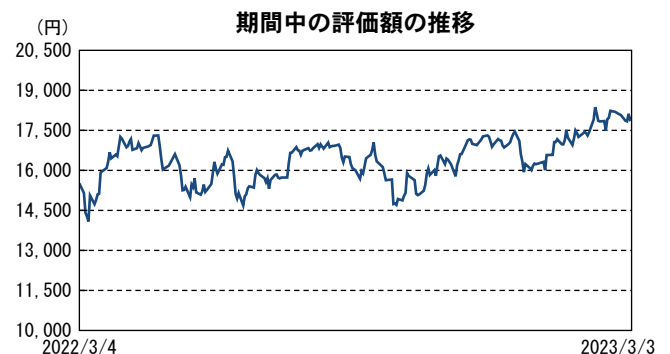
※当ファンドの基準価額の算定は、SBI 中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、SBI 中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブの騰落率は当ファンドの計算期間における前営業日のものを利用しています。



2. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90（適格機関投資家限定）（円建て）

コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90の当期の騰落率※は、+17.0%でした。

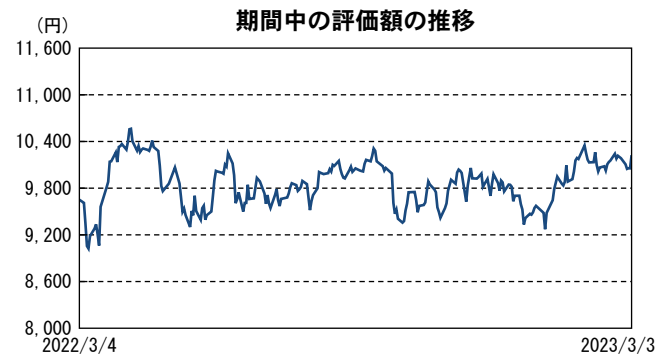
※当ファンドの基準価額の算定は、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90の前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90の騰落率は当ファンドの計算期間における前営業日のものを利用しています。



3. コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95（適格機関投資家限定）（円建て）

コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95の当期の騰落率※は、+6.1%でした。

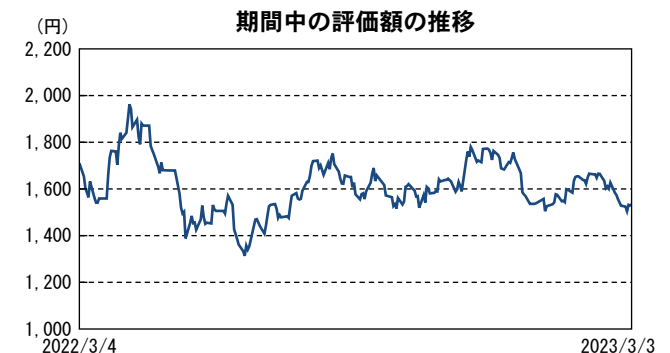
※当ファンドの基準価額の算定は、コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95の前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95の騰落率は当ファンドの計算期間における前営業日のものを利用しています。



4. クーブランド・カーディフ・ファンズー CC ジャパン アルファファンドクラスC（アイルランド籍UCITS適格オープンエンド型投資信託）（円建て）

クーブランド・カーディフ・ファンズー CC ジャパン アルファファンド クラスCの当期の騰落率※は、-10.4%でした。

※当ファンドの基準価額の算定は、クーブランド・カーディフ・ファンズー CC ジャパン アルファファンド クラスCの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、クーブランド・カーディフ・ファンズー CC ジャパン アルファファンド クラスCの騰落率は当ファンドの計算期間における前営業日のものを利用しています。



5. コムジェスト世界株式ファンド（適格機関投資家限定）（円建て）

コムジェスト世界株式ファンドの当期の騰落率※は、+6.7%でした。

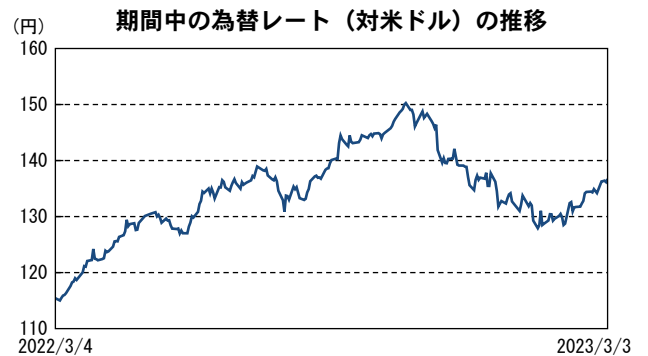
※当ファンドの基準価額の算定は、コムジェスト世界株式ファンドの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますのでコムジェスト世界株式ファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における前営業日のものを利用しています。



為替レートの推移（米ドル／円）

当期の対米ドルの為替レートは18.44%の円安（ファンドの基準価額にはプラスの影響）※でした。

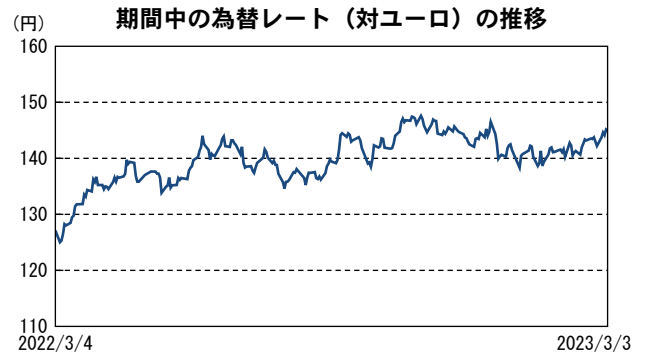
※当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので、為替レートの変化率は当ファンドの計算期間における当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。



為替レートの推移（ユーロ／円）

当期の対ユーロの為替レートは14.05%の円安（ファンドの基準価額にはプラスの影響）※でした。

※当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので、為替レートの変化率は当ファンドの計算期間における当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。



組入ファンドの概要

以下は当ファンドが投資対象としているファンドの現況です。貸借対照表の資産の部に計上された投資信託受益証券および投資証券はこれらのファンドです。各ファンドにおいて、現時点で入手できる直近の情報を記載しております。

1. SBI 中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (適格機関投資家専用)

■ 1口当たりの費用の明細

(2021年7月27日～2022年7月22日)

項目	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬	450	1.153
(投信会社)	(425)	(1.088)
(販売会社)	(4)	(0.011)
(受託会社)	(21)	(0.054)
(b) 売買委託手数料	50	0.129
(株式)	(50)	(0.129)
合計	500	1.282

期中の平均基準価額は39,051円です。

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
委託した資金の運用の対価
交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷各期中の平均受益権口数
売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料

(c) その他費用=各期中のその他費用÷各期中の平均受益権口数

(注5) 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 組入資産の明細 (2022年7月22日現在)

銘柄名	当期末
	比率
中小型割安成長株・マザーファンド	99.9%
コール・ローン等、その他	0.1%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

<ご参考> 中小型割安成長株・マザーファンド

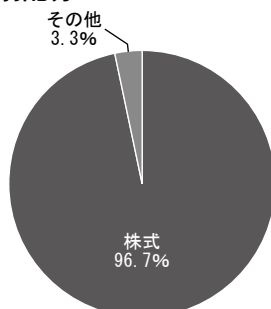
■ 組入上位10銘柄 (2022年7月22日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率(%)
1	SHOEI	その他製品	円	日本	3.6
2	システナ	情報・通信業	円	日本	3.6
3	デクセリアルズ	化学	円	日本	3.3
4	東京精密	精密機器	円	日本	3.2
5	デジタルハーツホールディングス	情報・通信業	円	日本	3.1
6	MCJ	電気機器	円	日本	3.1
7	くら寿司	小売業	円	日本	3.0
8	ホシザキ	機械	円	日本	3.0
9	サイゼリヤ	小売業	円	日本	3.0
10	エレコム	電気機器	円	日本	2.8
	組入銘柄数			55銘柄	

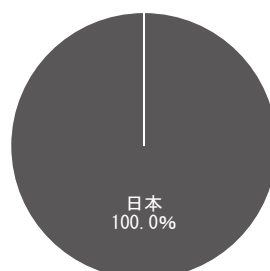
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

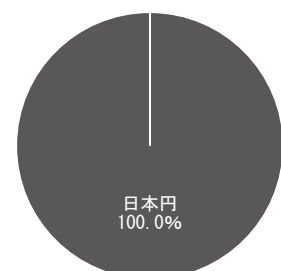
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2022年7月22日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

2. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定)

■ 1万口当たりの費用の明細

(2021年12月31日～2022年12月30日)

項目	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬	163	0.990
(投信会社)	(103)	(0.627)
(販売会社)	(51)	(0.308)
(受託会社)	(9)	(0.055)
(b) 売買委託手数料	3	0.018
(株式)	(3)	(0.018)
(c) 有価証券取引税	7	0.041
(株式)	(7)	(0.041)
(d) その他費用	11	0.066
(保管費用)	(7)	(0.040)
(監査費用)	(4)	(0.026)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	184	1.115

期中の平均基準価額は16,420円です。

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しております。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数

(c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数

(d) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数

(注4) 金額は項目毎に円未満を四捨五入して表示しております。

(注5) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目毎に小数第3位未満は四捨五入して表示しております。

■ 組入資産の明細 (2022年12月30日現在)

銘柄名	当期末 比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	99.5%
コール・ローン等、その他	0.5%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(56,237,249千円)の投資信託財産総額(57,724,214千円)に対する比率は97.4%です。

(注2) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1米ドル=132.70円	1ユーロ=141.47円	1ポンド=160.00円	1スイスフラン=143.74円
1スウェーデンクローナ=12.68円	1デンマーククローネ=19.02円		

<ご参考>ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド

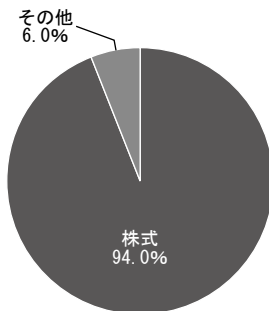
■ 組入上位10銘柄 (2022年12月30日現在)

	銘柄名	M S C I 業種分類	通貨	国(地域)	比率(%)
1	NOVO NORDISK A/S-B	ヘルスケア	デンマーククローネ	デンマーク	8.1
2	ASML HOLDING NV	情報技術	ユーロ	オランダ	6.7
3	ESSILORLUXOTTICA	ヘルスケア	ユーロ	フランス	6.3
4	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	一般消費財・サービス	ユーロ	フランス	5.0
5	LINDE PLC	素材	英ポンド	イギリス	4.6
6	ALCON INC	ヘルスケア	スイスフラン	スイス	4.0
7	STRAUMANN HOLDING AG-REG	ヘルスケア	スイスフラン	スイス	3.7
8	ACCENTURE PLC-CL A	情報技術	ユーロ	アイルランド	3.6
9	EXPERIAN PLC	資本財・サービス	英ポンド	イギリス	3.4
10	DASSAULT SYSTEMES SE	情報技術	ユーロ	フランス	2.9
	組入銘柄数		39銘柄		

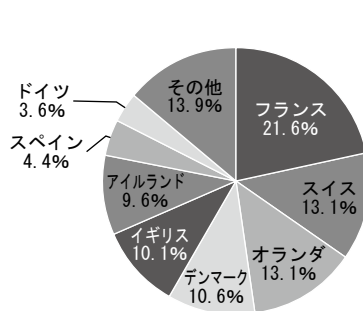
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

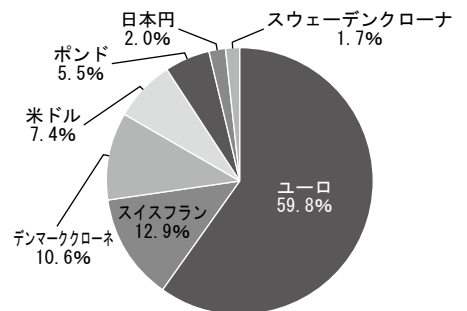
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

3. コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95（適格機関投資家限定）

■ 1万口当たりの費用の明細

（2021年12月31日～2022年12月30日）

項目	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬	103	1.045
（投信会社）	(65)	(0.660)
（販売会社）	(33)	(0.330)
（受託会社）	(5)	(0.055)
(b) 売買委託手数料	5	0.050
（株式）	(5)	(0.050)
(c) 有価証券取引税	7	0.074
（株式）	(7)	(0.074)
(d) その他費用	32	0.325
（保管費用）	(15)	(0.156)
（監査費用）	(3)	(0.026)
（その他）	(14)	(0.143)
合計	147	1.494

期中の平均基準価額は9,873円です。

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（a）信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

（注2）消費税は報告日の税率を採用しております。

（注3）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

（b）売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数

（c）有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数

（d）その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数

（注4）金額は項目毎に円未満を四捨五入して表示しております。

（注5）比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目毎に小数第3位未満は四捨五入して表示しております。

■ 組入資産の明細（2022年12月30日現在）

銘柄名	当期末 比率
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	99.4%
コール・ローン等、その他	0.6%
組入銘柄数	1銘柄

（注1）ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（16,136,335千円）の投資信託財産総額（16,196,828千円）に対する比率は99.6%です。

（注2）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 オフショア人民元=19.0159円	1 米ドル=132.70円	1 メキシコペソ=6.812円	1 ブラジルレアル=25.0842円
1 チリアンペソ=0.154523円	1 香港ドル=17.02円	1 韓国ウォン=0.1055円	1 シンタイランド=4.3157円
1 ドン=0.005611円	1 インディアンルピー=1.61円	1 南アフリカランド=7.82円	

----- <ご参考>ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド -----

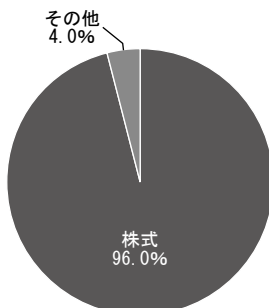
■ 組入上位10銘柄（2022年12月30日現在）

	銘柄名	業種	通貨	国（地域）	比率（%）
1	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP CO.	生活必需品	オフショア人民元	中国	5.7
2	FOMENTO ECONOMICO MEXICANO	生活必需品	メキシコペソ	メキシコ	5.3
3	BB SEGURIDADE PARTICIPACOES SA	金融	ブラジルレアル	ブラジル	5.3
4	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	金融	インドルピー	インド	5.0
5	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	台湾ドル	台湾	4.9
6	AIA GROUP LTD	金融	香港ドル	香港	4.6
7	WEG SA	資本財・サービス	ブラジルレアル	ブラジル	4.0
8	MARUTI SUZUKI INDIA LIMITED	一般消費財・サービス	インドルピー	インド	3.8
9	DELTA ELECTRONICS INC	情報技術	台湾ドル	台湾	3.7
10	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	公益事業	インドルピー	インド	3.7
	組入銘柄数		38銘柄		

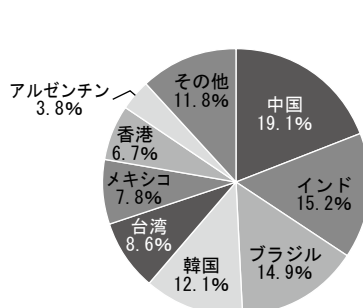
（注1）比率は、純資産総額に対する割合です。

（注2）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

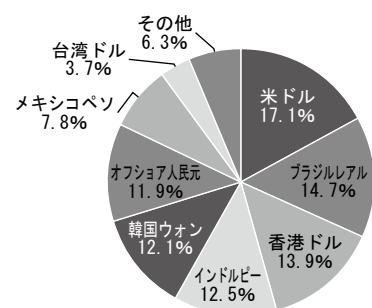
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



（注1）比率は、純資産総額に対する割合です。

（注2）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

4. ケーブランド・カーディフ・ファンズー CC ジャパン アルファファンド クラスC (アイルランド籍UCITS適格オープンエンド型投資信託)

■費用明細

信託報酬	年率1.5%
パフォーマンス・フィー	なし
販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
その他費用	①アドミニストレーションフィー：最大0.12% ②カストディアンフィー：最大0.02% ③その他、ファンドの事務処理等に要する費用等

■組入上位10銘柄 (2022年11月30日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率(%)
1	Money Forward	Financial	円	日本	6.2
2	SHIFT Inc	Technology	円	日本	6.0
3	Raksul Inc	Consumer, Non-cyclical	円	日本	5.9
4	SMS Co Ltd	Communications	円	日本	5.6
5	Freee K.K.	Technology	円	日本	5.5
6	GMO Payment Gateway Inc	Consumer, Non-cyclical	円	日本	5.3
7	Wealthnavi Inc	Financial	円	日本	4.7
8	Katitas Co Ltd	Industrial	円	日本	4.7
9	Giftee	Communications	円	日本	4.6
10	Nihon M&A Center Inc	Consumer, Non-cyclical	円	日本	4.6
組入銘柄数			26銘柄		

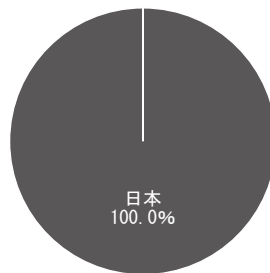
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

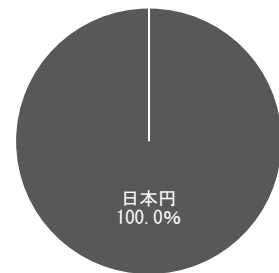
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

5. コムジェスト世界株式ファンド（適格機関投資家限定）

■ 1万口当たりの費用の明細

（2021年12月31日～2022年12月30日）

項目	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬	125	0.968
（投信会社）	(81)	(0.627)
（販売会社）	(40)	(0.308)
（受託会社）	(4)	(0.033)
(b) 売買委託手数料	6	0.045
（株式）	(6)	(0.045)
(c) 有価証券取引税	5	0.036
（株式）	(5)	(0.036)
(d) その他費用	20	0.156
（保管費用）	(10)	(0.080)
（監査費用）	(1)	(0.010)
（その他）	(9)	(0.066)
合計	156	1.205

期中の平均基準価額は12,897円です。

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（a）信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

（注2）消費税は報告日の税率を採用しております。

（注3）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

（b）売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数

（c）有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数

（d）その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数

（注4）金額は項目毎に円未満を四捨五入して表示しております。

（注5）比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目毎に小数第3位未満は四捨五入して表示しております。

■ 組入資産の明細（2022年12月30日現在）

銘柄名	当期末 比率
コムジェスト世界株式 マザーファンド	99.4%
コール・ローン等、その他	0.6%
組入銘柄数	1銘柄

（注1）コムジェスト世界株式 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（3,514,426千円）の投資信託財産総額（3,848,934千円）に対する比率は91.3%です。

（注2）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 オフショア人民元=19.0159円	1 米ドル=132.70円	1 ユーロ=141.47円	1 ボンド=160.00円
1 スイスフラン=143.74円	1 香港ドル=17.02円	1 インディアンルピー=1.61円	

<ご参考> ニッポンコムジェスト・世界株式ファンド マザーファンド

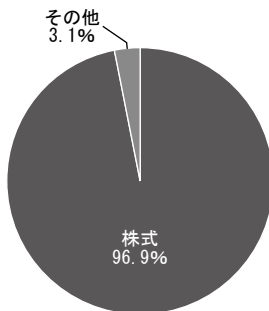
■ 組入上位10銘柄（2022年12月30日現在）

	銘柄名	MSCI業種分類	通貨	国（地域）	比率（%）
1	ELI LILLY & CO	ヘルスケア	米ドル	アメリカ	5.9
2	MICROSOFT CORP	情報技術	米ドル	アメリカ	4.9
3	JOHNSON & JOHNSON	ヘルスケア	米ドル	アメリカ	4.7
4	ESSILORLUXOTTICA	ヘルスケア	ユーロ	フランス	4.3
5	LINDE PLC	素材	英ポンド	イギリス	4.1
6	LVMOH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	一般消費財・サービス	ユーロ	フランス	3.9
7	ASML HOLDING NV	情報技術	ユーロ	オランダ	3.7
8	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	金融	インドルピー	インド	3.7
9	L'OREAL	生活必需品	ユーロ	フランス	3.6
10	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	台湾ドル	台湾	3.5
	組入銘柄数		35銘柄		

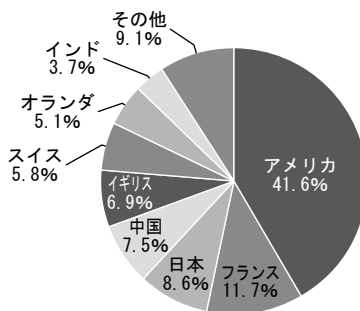
（注1）比率は、純資産総額に対する割合です。

（注2）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

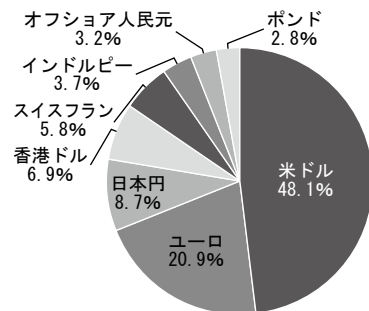
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



（注1）比率は、純資産総額に対する割合です。

（注2）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。